

自然体験イベント事故情報

事故名	後方の石畳の段差に気づかず転倒	被災者	年齢 50歳代	性別 女性
事故状況	発生日時 令和7年(2025年) 5 月 16 日 (金) 11時30分頃			
	発生場所 <u>公園</u> ・里山・海・川・溪谷・その他()			
	事故状況(何をして、どのように、どうなった) タチバナをじっくり見学しており、そのまま後方に左足を一步さげたところ、5cm程度の石畳の段差があった。段差について全く認識していなかったため、後ろに倒れ込み、しりもちをついてしまった。足と臀部を確認したが、特に痛みもなく立ち上がり歩くことができた。			
事故処置	誰が、どのように処置 転倒後しばらくすると、左腕の腕時計をしている箇所にピリッとした痛みが発生した。腕時計を外し、他の参加者からもらったシップを貼付したところ、痛みは少し落ち着いてきた。しかし手首の背屈が辛く感じたので、観察会終了後に整形外科を受診した。			
	ケガの部位・症状 左手首に熱感・腫脹はないが、骨密度が同年代に比べて低値であることが指摘された。			
	推定原因と再発防止策 被災者は以前も転倒して足を骨折したことがあり、その後は危険な場所には行かず、都市公園の散策を主にして活動していた。日頃から十分に注意していたが、今回は油断があった。参加者全員が安全に楽しむために、周囲の状況に注意を向けること、自宅に戻るまで気を配ることを実施する。			
総務部会 コメント	以前にも転倒・骨折したことがあるということで、このような心配のある参加者については、イベント前にスタッフに申し出るように呼びかけ、申し出があった参加者については危険が予想される場所についてスタッフが注意を払うことが望ましい。			